

2023年度 社会福祉事業（第一種）

障害児入所施設事業 障害者支援施設事業 太陽の家 事業報告書

1. 利用定員 80名 (成人40名、成人30名、児童10)

(短期入所 1名 ; 2024年2月1日から3名)

2. 基本方針

(1) 基本方針

基本的人権を擁護する視点から、一人一人を大切に、同世代の多数の人々と同様なライフスタイルで暮らしが送れるよう支援する。入所施設としての地域の役割を担うと同時に、地域生活へ移行した障がい者など、地域に住む障がい者が安心した生活を継続するためには、地域の中で様々なサポートを行っていくことが必要である。そのため、様々な既存の社会資源を組み合わせて活用するなどにより、地域生活支援の拠点を面と点での構築を図ることを目的とする。

(2) 施設の目的

義務教育終了後の障がい児・者が、自らの力と、隣人、友人との協力を基盤として社会生活能力を高める事、具体的体験を通じて社会参加を実現して行く事を目的とする。この目的のため、利用者個々人の独自性に則ったプログラムの作成に努力し、同時に、利用者各人の生活の本拠としての整備に努力する。

3. 利用状況

(1) 太陽の家 北館

ア. 施設入所支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者人数	26	26	25	25	24	24	18	18	18	18	18	17
障害支援区分	非該当											
	1											
	2											
	3	2	2	2	1	1	1					
	4	9	9	9	10	10	10	5	5	5	5	4
	5	8	8	8	7	7	6	6	6	6	6	6
6	7	7	6	7	6	7	7	7	7	7	7	

イ. 生活介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ利用者人数	508	487	511	453	449	379	344	328	333	310	308	319
1日当たり利用者	26	26	25	25	24	24	17	18	18	18	18	17

ウ. 年齢別・性別の状況

	20歳未満	20歳以上～ 30歳未満	30歳以上～ 40歳未満	40歳以上～ 50歳未満	50歳以上～ 60歳未満	60歳以上～ 70歳未満	70歳以上～
男性	1		6	2	2		
女性	1		1	3	1		

エ. 入所期間の状況

	1年未満	1年以上～ 3年未満	3年以上～ 5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上～ 25年未満	25年以上～ 35年未満	35年以上 最長40年目
男性		1		1		4	2	3
女性			1		1			4

オ. 短期入所利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者人数											0	0

カ. 事故等の状況

事故発生件数	34件	うち行政庁への報告	2件	ヒヤリハット事例	48件
--------	-----	-----------	----	----------	-----

(2) 太陽の家 南館

ア. 施設入所支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者人数	38	38	37	36	36	35	31	31	31	31	31	31
障害支援区分	非該当											
	1											
	2											
	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
	4	19	19	18	18	18	18	13	13	13	13	13
	5	9	9	9	8	8	8	10	10	10	10	10
6	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	

イ. 生活介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ利用者人数	735	739	782	694	741	634	628	585	576	525	544	579
1日当たり利用者	38	38	37	36	36	33	31	29	29	29	31	31

ウ. 年齢・性別の状況

	20歳未満	20歳以上～ 30歳未満	30歳以上～ 40歳未満	40歳以上～ 50歳未満	50歳以上～ 60歳未満	60歳以上～ 70歳未満	70歳以上～
男性				6	9	4	2
女性			1		4	5	

エ. 入所期間の状況

	1年未満	1年以上～ 3年未満	3年以上～ 5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上～ 25年未満	25年以上～ 35年未満	35年以上 最長43年目
男性				2	1	6		12
女性			1		1		2	6

オ. 短期入所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

カ. 事故等の状況

事故発生件数	29件	うち行政庁への報告	0件	ヒヤリハット事例	66件
--------	-----	-----------	----	----------	-----

(3) 太陽の家 児童部

特記する事業活動は無し。

(4) 北館、南館からの地域移行などの退所者数

共同生活援助（グループホーム）URI への地域移行 8名

介護保険制度への移行 7名

自宅 1名

(5) 苦情受付件数

本年度 2件 土日祝日等の訪問時の呼び鈴についてなど

(6) 障がい者虐待防止センターへの通報

本年度 3件 四国中央市虐待防止センターの聞取調査により、1件は、虐待行為として認定され、県への通報となった。1件は、虐待とは認定されず、不適切な行為として、この2件については、特別研修が実施された。他の1件は、虐待としての認定、不適切な行為としての認定はなかった。

4. 施設内職員研修

	実施時期		研修内容	参加人数
1	4月		障がい者の虐待防止について 担当講師：社労士 鈴木 正幸氏	51名
2	6月	6・7日	市内の生活介護事業所を知ろう（紹介DVD視聴） 担当：生活介護事業所連絡会	12名
3	7月	27日	障害を有する方の人権擁護と支援者に求められる覚悟 担当講師：五島裕子氏（ウィルビーベース）	25名
4	8月	22日	同上同内容 第二回	18名
5	8月	24日	虐待防止・不審者訓練 担当講師：四国中央警察生活安全課 石川俊二氏	18名
6	9月	26日	事例で考える虐待防止 担当講師：弁護士 高橋宏典氏	18名
7	10月	25日	支援の在り方について 担当講師：理事長 青木 悠氏	14名
8	11月	10日	わが子の生態研究 担当講師：鈴木順子氏（NPO 法人今人倶楽部）	14名
9	3月	14日	事例で考える虐待防止 担当講師：弁護士 高橋宏典氏	15名

5. 施設外職員研修

実施月	研修会名	開催場所	参加職種	参加者数	研修日数	研修内容
7月	スーパバイズを活用した支援の実践報告会	Zoom 参加	看護師	1名	1日	スーパバイズを活用した支援の実践報告
9月	障がい者支援者研修会	四国中央市 福祉会館	施設長補佐 サビ管・支援員	6名	1日	「地域で暮らす」を支援するための支援者研修
11月	基幹相談支援センター研修会	四国中央市 福祉会館	看護師 支援員	2名	1日	医療観察制度について
12月	感染症対策研修会	四国中央市 福祉会館	看護師 支援員	3名	1日	感染症の発生状況 感染症が発生した場合の対応策
12月	障がい児者療育支援事業	中ノ庄公民館	サビ管 保育士	2名	1日	「活動の終わりの見える化」と「活動のやり方の見える化」による支援
2月	小児の発達障害	四国中央病院 4階講堂	看護師 施設長補佐	2名	1日	小児の発達障害について
2月	アメニティーフォーラム	大津プリンスホテル	施設長 施設長補佐	2名	3日	報酬改定を考える、 強度行動障がい者の地域生活 他
3月	障がい者支援者研修会	四国中央市 福祉会館	施設長補佐 サビ管・支援員	8名	1日	共生社会の実現に向けて

2023年度 障害福祉サービス事業 インクルーシブセンターいまじん事業報告書

1. 基本方針

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえて個別支援計画を作成し、これに基づき利用者に対して障害福祉サービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施する。また、その他の措置を講ずることにより利用者に対して適切かつ効果的に障害福祉サービスを提供する。

2. 基本事業

【生活介護】

○事業内容

介護を要する利用者に対し、排泄・食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供。

○定員10名(現員 20 名、平均利用者数 10.6 名 ※)

○利用状況一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所 日数	20	22	22	22	21	21	22	22	21	20	20	22	255
利用 人数	18	18	18	18	19	19	19	19	19	19	17	19	222
延べ 人数	214	223	236	224	221	229	231	241	232	210	219	231	2711

○新規利用者は1名、長期休んでいた方が1名利用再開できた。2月から1名長期休み。

○室内では、主に個別課題(マッチング、分類など)や創作活動、喫茶、おやつ作りを行い、屋外では、軽運動、ドライブ・散歩等の外出を実施している。

○若い方の利用が増えてきたため、内職を取り入れ作業も始めた。書類の押印や封入作業を仕事として取り組んでもらい、定期的に工賃を支払うことで、お金に関する個別の取り組みを実施することができた。

また、創作活動で作ったものを商品として B 型で販売することも始めた。

【就労継続支援 B 型】

○事業内容

通常に事業所で雇用されることが困難と思われる利用者に対し、生産活動その他の活動の機会、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な支援を行うことで、その方の社会参加及び経済活動への参加の促進を図る。

○定員10名(現員 16 名、平均利用者数 8.3 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所 日数	20	23	22	22	21	21	22	22	21	20	20	22	256
利用 人数	14	14	12	14	14	14	15	15	13	12	12	12	161
延べ 人数	183	183	167	171	164	175	214	213	178	146	161	161	2116

○新規利用は2名、退所も2名あった。1名、家庭の事情で長期休み中。

○パン・菓子の製造販売や委託販売に関しては、イベントが少し復活してきたため、なるべく参加するようにした。また、SNS でもイベントの声掛けやお客様からの問い合わせ、予約をいただいたこともあり、SNS での情報発信効果もあった。

○清掃等の施設外作業を実施することで定期的な収入にはなったが、農福連携で始まった里芋収穫作業は天候等の影響から不定期の実施であった。
どちらも、屋外作業を好む人が少なくなってきたり、実施できる日数が限られてきている。

○平均工賃算出方法の変更により、一人当たり月平均工賃は11,494円となった。

2023 年度事業報告書 「グループホーム URI」

(1) 基本方針

①利用者が、地域において自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じ共同生活住居において、食事の提供、相談等の日常生活上の援助を適切に行う。

②事業の実施に当たっては、地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

③定員 10名（現員8名、平均利用人数 7.7名）

④事業開始 2023年9月1日

2023年9月1日～2024年3月31日までの利用延べ日数								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	214
障害支援区分	利用者数（延べ日数）							
区分3	42	62	60	62	62	58	62	408
区分4	159	186	180	182	178	174	186	1245
計	201	248	240	244	240	232	248	1653

出身地別利用人数								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
四国中央市	171	217	210	214	211	203	217	1443
新居浜市	30	31	30	30	29	29	31	210
計	201	248	240	244	240	232	248	1653